



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東  
 コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 数井 明生 (TEL) 03-3249-4651  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	32,873	△3.1	1,535	14.3	1,913	41.2	942	30.8
27年3月期第1四半期	33,912	10.1	1,343	△23.7	1,355	△40.4	720	△52.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 4,074百万円(—%) 27年3月期第1四半期 249百万円(△91.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	5.49	4.56
27年3月期第1四半期	4.20	3.49

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	250,728	123,555	48.3
27年3月期	249,697	120,624	47.3

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 121,111百万円 27年3月期 118,152百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.50	—	6.50	12.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円50銭 記念配当 1円00銭

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	72,000	△2.0	5,000	△13.1	4,800	△20.5	2,800	△36.1	16.29
通期	155,000	3.2	13,000	△10.7	12,500	△19.0	8,000	△13.0	46.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	181,683,909株	27年3月期	181,683,909株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	9,812,974株	27年3月期	9,900,843株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	171,811,599株	27年3月期1Q	171,789,792株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、原油安が継続し、雇用・所得環境も改善傾向にあり全体としては緩やかな回復基調が続きました。又、世界経済は、中国の成長鈍化はあるものの米国の景気は引き続き底堅く推移しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比3.1%減の328億73百万円となりました。営業利益は前年同期比14.3%増の15億35百万円、経常利益は前年同期比41.2%増の19億13百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比30.8%増の9億42百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

	売 上 高			営 業 損 益		
	前第1四半期	当第1四半期	増減	前第1四半期	当第1四半期	増減
機能製品事業	8,863	9,018	154	△636	△500	136
化学製品事業	6,688	7,088	400	681	842	160
樹脂製品事業	11,354	10,792	△561	1,002	1,035	33
建設関連事業	3,408	2,725	△683	138	81	△56
その他関連事業	3,596	3,247	△348	174	66	△107
消 去	—	—	—	△18	8	26
連結合計	33,912	32,873	△1,039	1,343	1,535	192

(単位：百万円)

## ① 機能製品事業

機能樹脂分野では、PPS樹脂の売上げは減少したものの、リチウムイオン二次電池用バインダー用途・工業用途向けのふっ化ビニリデン樹脂及びシェールガス・オイル掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂の売上げは拡大し、この分野での売上げは増加し、営業損失は縮小しました。

炭素製品分野では、炭素繊維、特殊炭素材料共に売上げが減少した結果、この分野での売上げは減少し営業損失は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比1.7%増の90億18百万円となり、営業損失は前年同期6億36百万円から5億円となりました。

## ② 化学製品事業

医薬・農薬分野では、農業・園芸用殺菌剤「メトコナゾール」及び慢性腎不全用剤「クレメジン」の出荷が増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

工業薬品分野では、無機薬品類及び有機薬品類の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益は共に減少しました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比6.0%増の70億88百万円となり、営業利益は前年同期比23.5%増の8億42百万円となりました。

## ③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げは増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

業務用食品包装材分野では、包装機械の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益は共に減少しました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比4.9%減の107億92百万円となり、営業利益は前年同期比3.3%増の10億35百万円となりました。

## ④ 建設関連事業

建設事業は、震災復興関連等の公共工事は堅調に推移しているものの民間建築工事が減少したことにより売上げが減少し、前年同期の営業利益から営業損失となりました。

エンジニアリング事業は、プラント建設工事の減少により売上げは減少しましたが、経費削減により営業利益は前年同期並みとなりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比20.0%減の27億25百万円となり、営業利益は前年同期比40.9%減の81百万円となりました。

## ⑤ その他関連事業

環境事業は、焼却炉更新工事実施による産業廃棄物処理の減少により売上げが減少し、前年同期の営業利益から営業損失となりました。

運送事業は、売上げは減少しましたが、経費削減により営業利益は増加しました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比9.7%減の32億47百万円となり、営業利益は前年同期比61.7%減の66百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産の部につきましては、前期末比10億30百万円増の2,507億28百万円となりました。流動資産は、現金預金及び売掛債権が減少したこと等により、前期末比23億43百万円減の736億5百万円となりました。固定資産は、有形固定資産がいわき事業所での設備投資等により前期末比11億46百万円増の1,243億31百万円となったこと及び投資有価証券の時価評価が増加したこと等により、前期末比33億74百万円増の1,771億22百万円となりました。

負債の部につきましては、前期末比18億99百万円減の1,271億73百万円となりました。これは、有利子負債が借入金増加等により前期末比9億44百万円増の875億80百万円となった一方で、賞与や法人税等の支払いを実施したこと等によりです。

純資産の部につきましては、前期末比29億30百万円増の1,235億55百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を9億42百万円計上し、剰余金の配当を11億16百万円実施すると共に、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が増加したこと等によりです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2015年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

## ② 税金費用の計算

当連結会計年度のグループ各社の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,772	6,348
受取手形及び売掛金	28,984	27,125
商品及び製品	26,303	25,111
仕掛品	1,144	1,853
原材料及び貯蔵品	5,327	5,774
その他	6,609	7,590
貸倒引当金	△192	△198
流動資産合計	75,949	73,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,198	42,934
機械装置及び運搬具(純額)	49,514	57,090
建設仮勘定	18,123	7,232
その他(純額)	16,350	17,074
有形固定資産合計	123,185	124,331
無形固定資産		
無形固定資産	2,448	2,523
投資その他の資産		
投資有価証券	26,960	29,772
その他	21,283	20,617
貸倒引当金	△129	△121
投資その他の資産合計	48,114	50,267
固定資産合計	173,748	177,122
資産合計	249,697	250,728

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,766	13,734
短期借入金	18,094	18,680
1年内返済予定の長期借入金	6,772	7,074
未払法人税等	2,430	888
賞与引当金	2,712	1,305
役員賞与引当金	196	41
環境対策引当金	21	8
その他	26,268	19,711
流動負債合計	70,262	61,444
固定負債		
社債	17,000	17,000
新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	19,770	25,825
役員退職慰労引当金	229	195
環境対策引当金	374	374
退職給付に係る負債	550	559
資産除去債務	804	807
その他	5,081	5,966
固定負債合計	58,810	65,728
負債合計	129,072	127,173
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	10,013	10,013
利益剰余金	84,163	83,983
自己株式	△4,487	△4,447
株主資本合計	102,150	102,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,352	11,648
繰延ヘッジ損益	△5	△2
為替換算調整勘定	7,272	8,027
退職給付に係る調整累計額	△615	△571
その他の包括利益累計額合計	16,002	19,102
新株予約権	68	38
非支配株主持分	2,403	2,404
純資産合計	120,624	123,555
負債純資産合計	249,697	250,728

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上高	33,912	32,873
売上原価	25,758	24,350
売上総利益	8,154	8,523
販売費及び一般管理費	6,810	6,987
営業利益	1,343	1,535
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	317	358
持分法による投資利益	42	77
為替差益	—	167
その他	181	119
営業外収益合計	557	736
営業外費用		
支払利息	158	196
売上割引	109	100
為替差損	151	—
その他	126	61
営業外費用合計	545	358
経常利益	1,355	1,913
特別利益		
受取賠償金	40	35
その他	2	8
特別利益合計	42	43
特別損失		
固定資産除売却損	59	4
その他	4	—
特別損失合計	64	4
税金等調整前四半期純利益	1,333	1,952
法人税等	618	1,005
四半期純利益	714	947
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	720	942

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
四半期純利益	714	947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	849	2,317
繰延ヘッジ損益	0	3
為替換算調整勘定	△1,266	753
退職給付に係る調整額	85	45
持分法適用会社に対する持分相当額	△134	6
その他の包括利益合計	△465	3,126
四半期包括利益	249	4,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263	4,042
非支配株主に係る四半期包括利益	△14	31

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,863	6,688	11,354	3,408	3,596	33,912	—	33,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	309	59	167	1,934	1,598	4,070	△4,070	—
計	9,173	6,747	11,522	5,343	5,195	37,982	△4,070	33,912
セグメント利益又は 損失(△)	△636	681	1,002	138	174	1,361	△18	1,343

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,018	7,088	10,792	2,725	3,247	32,873	—	32,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	266	99	118	1,491	1,509	3,485	△3,485	—
計	9,284	7,187	10,911	4,217	4,757	36,358	△3,485	32,873
セグメント利益又は 損失(△)	△500	842	1,035	81	66	1,526	8	1,535

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。